

## 聖徒たちを整える

2009年6月5日 アシェル・イントレーター

### 最新のニュース

#### 香港の Call2All (すべての人への召命) 会議

香港の Call2All 会議は大成功を収め、いくつかの歴史的な目標を達成しました。

1. ほとんどの主要な宣教運動、すなわち宗派を越えたカリスマ派と福音派との間に、この世代の間に「大宣教命令」を達成するために共に働こうという一致があったこと。
2. 宣教運動間および祈りの運動間において一致と協力があったこと。
3. 次の 10 年間に中国が世界宣教における来るべき原動力となることを認識。
4. 中国、インド、そしてイスラム世界を含むアジア諸国への宣教を強調する戦略的な計画。
5. Call2All の世界戦略にはイスラエルの適切な位置付けが含まれてはいるが、まだそれを理解し始める段階にあること。

興味深いことに、この会議は 1989 年北京で生じた天安門事件の 20 周年に開催されました。

また、この会議は「ノアの箱船プロジェクト(注)」の開会式と同じ日に行われました。この箱船は世界中でただ一つのノアの箱船の実寸大の複製です。5000 万ドルをかけて作られ、今や香港を旅するすべての人々の、家族-霊的な観光地として開園しています。

注: ノアの箱船プロジェクト: 香港の大富豪であるトーマス・クウォク氏(クリスチャン)が 17 年かけて構想(2004 年に建築開始)し、香港で原寸大のノアの箱船を造りました。そこはテーマパークになっており、箱船にはレストランや博物館などが入っているという。(The Wall Street Journal 2009/4/14 の記事参照  
<http://online.wsj.com/article/SB123966767906515339.html>)

#### ティックーン USA 会議

今年のペンシルバニア州ランカスターでの会議は大変な成功を収め、全米のCongregation間ネットワークにとって転換点となりました。パティ・ジャスター(ダン・ジャスターの妻)とデビッド・ルドルフ師主導の元、主な集会すべてにおいて聖霊の油注ぎがあり、多くの預言的な賜物が表されました。二晩の講演でポール・ウィルバー師(訳注: 元”Lamb”というメシアニック賛美グループの一員で、アメリカで最も有名なメシアニック賛美者の一人)が賛美を導きました。

恐らく最も重要な突破口は青少年および若者たちによる指導体制でした。ダン・ジャスターの息子ベンは新しくティックーン・アメリカの運営を行うディレクターに任命されました。それぞれのCongregation

ーションを代表する牧会指導部の間に一致がありました。聖霊による活動に 50 名ほどの青年たちが導かれました。

30 年に渡る契約的關係を通して、アメリカでの私たちの活動は契約において次の重要な段階へと移行しつつあります。それは、団体の中にいる年長の使徒たちや預言者たちの愛と注意深い監督の下、より若い世代へと権限を譲渡していくことです。

## 「イスラエルの召命」会議

どうか今週末に行われるカンサス・シティにある「国際祈りの家 (IHOP)」での「イスラエルの召命」会議のためにお祈り下さい。ダンとアシェルはマイク・ビックル師と共に教えることになっています。

---

## 教えの記事

### 聖徒たちを整える

リバイブ・イスラエル(名称が示すとおり)のビジョンはイスラエルの地にリバイバルを発展させ、ここから全世界に広げることです。それを実行するために、私たちはイエシュアの 12 弟子やパウロの宣教チームをモデルとする使徒によるチームを組んでいます。これはまたエペソ4章に述べられている「五役者による宣教」チームと呼ばれています。

### エペソ 4:11-12

こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師としてお立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストの体を建て上げるためであり、(後略)

以下記述すべき点を述べます。

**1. チームワーク:** これらのみことばの個所は指導者間の協力を述べています。これは選択肢ではなく必須条件です。指導者間の協力がなければリバイバルを見ることはできません。

バスケットボールのようなチームスポーツでプレイしたことを覚えているでしょうか。ある選手にあなたがボールをパスすると、その人はすぐさまシュートをします。現在の多くの指導者たちはそのようです。彼らはチームワークの中でプレイする方法を知りません。チーム宣教とは単にボールをシュートする方法を知っているだけでなく、ディフェンスやチームメンバーにパスすることも知っているということです。チームワークは互いに謙り合うことを必要としますが、私たちのプライドがそれをさせないようにするのはです。

チームワーク宣教は、指導者たちが信頼し合い忠実である個人的な関係を構築するために時間をかけなければなりません。

**2.様々な種類の宣教:**指導者全員が牧師ではありません。ここで5つの役割が述べられており、それらの違いを私たちは理解しなければなりません。預言者と伝道者が牧師のように奉仕するとその群れを損なってしまう可能性があります。このような五役者レベルの賜物を用いる活動を行う預言者や伝道師に、自分たちの活動を地元の牧師に従わせることは欲求不満を起こさせるだけです。使徒的チームはこれらの活動を調整し監督するために奉仕するのです。

五役の賜物は指導の働きのためだけです。キリストの体全体のための多くの賜物はローマ 12 章に述べられており、それらは奉仕、慈善、指導、勧めなどです。全員に霊的な賜物が与えられ、奉仕しキリストの体で建て上げるのです。

私たちはまた「市場」(ビジネス、政府、報道、教育その他)での働きは、教会内での働きに匹敵すると認識しています。イエシュアの宣教は私たちの回りの世の中において光なのです。

**3.若い指導者を訓練する:**この箇所は「聖徒たちを整える」ことを語っています。整えることは、基本的な弟子訓練が終わった時に始まります。年齢による制限はありませんが、一般的に訓練は上の世代から若い世代へと流れていきます。私たちのCongregationは経験豊かな指導者の監督の下、指導者の素質のある若い人に活動する場として訓練所、プレイイング・フィールド、実験室として用いられるべきです。指導者たちは「選手」ではなく「コーチ」としての役割を担う必要があります。

最近のティックーン USA Congregation会議において、私たちは若い人々に会衆の前に一歩進み出て一列に並び、聖霊によるバプテスマを行うよう呼び出し、一方で年配の指導者たちは若者たちの列に一歩後ろに立って励まし、観察し、そしてコーチしました。テルアビブにあるティフェレット・イエシュア・Congregationでの最近の活動において、私は7名の若いチームメンバーを連れて来て、礼拝メッセージや人々のために祈ることを順番に行わせました。

指導者として、私たちが教えたり指導したりする時に、弟子たちも私たちと一緒に指導を行わせるべきです。この訓練モデルは神の御国が拡大し私たちの契約的關係が次の世代へと受け継がれるのです。